

2024年 秋号

WA!

VOL.
100

L'hospital KYOWA



WA! 100号を迎えて

特定医療法人 共和会
会長 加藤 仁

2000年新年に広報誌WAが発刊され早くも四半世紀が経ちました。今回2024年秋号を迎え、広報誌「WA」は記念すべき100号の発刊となったことを感慨深く感じております。当時、広報誌の名称は職員からの公募でした。多くのアイデアが候補にあがりましたが、共和の「和」職員の「輪」驚きの「わ」などたくさんの「WA」が詰まった広報誌にしようと思われました。第1号の巻頭挨拶は先代の亡き名誉院長、加藤邦之助と私とで紙面を半分に分け書きました。ついでこの前のこのように懐かしく思い出されます。その当時は、まだ、精神障がいや患う方への偏見を強く感じておりましたので「今後の医療機関や福祉機関とのネットワークを広げ、住みやすい地域を目指していきます」と書きました。100号を発刊する今、近隣住民の皆さまや関係機関、行政の皆さま、職員の努力により、確実にオリジナリティーあふれるネットワークづくりが構築されてきていることを実感しております。病院幹部が主導するのみでなく職員が地域とのつながりの中で提案をしてもらえることが嬉しく、まさに「わ〜」と感じる場面も多々あります。

毎回の広報誌には、患者さんや職員や地域の方と共に紡ぎあったWAが詰まっています。共和会の理念「優しい医療・楽しい職場」は私が理事長就任と同時に考えました。この広報誌WAにはまさに「優しい医療・楽しい職場」が生き生きと描かれていると誇りに思い毎回の発刊を楽しみにしております。これからも、皆さんに読んでいただける広報誌であり続けられるように願っております。



WA! 創刊当時の共和病院

100号記念!

旧B館の立派なイチヨウの木はいまどこに?

1980年、私が当院に入職した時には、イチヨウが植樹されていたのを今でも覚えています。1958年4月に創立記念樹として植樹され、病院と共に60余年長い年月を過ごしてきた思い出もあるイチヨウでしたが、2016年からはじまった病院新棟建設の計画に自分も窓口として関わることになり、イチヨウの木を伐採することについて違う場所への移植等検討しました。その結果、建設後に改めて移植することが決まり、若枝3本と、幹の部分为数メートル切り、それぞれ植栽と保管し、建設を見守ることになりました。

2020年新棟が完成し、病院が新しく生まれ変わり動き出すと同時に、イチヨウの植樹も検討されました。若枝は1本が成長し新芽を吹いている次第で、幹の大木においてもどのように残そうか色々考え、施設管理スタッフが「ベンチに加工しよう!そして皆さんにも座ってもらおう!」と提案し決まりました。

それから、幹の一部は輪切りにし、年輪の奥を見つめ共和病院の長い歴史と思い出を職員の皆さんへも感じて頂けたらと思い制作しました。

施設管理 野口 昭・近藤 啓史



若枝を人の背の高さになるまで育てあげた木村 勝文さん、ベンチに生まれ変わらせた近藤 啓史さんに感謝状を贈らせていただきました。写真は左から、木村さん、加藤会長、榎本名誉院長、近藤さん



病院の入口で順調に育つイチヨウ



2000年ごろ 記念樹に手を伸ばしているのは、当時の名誉院長 故加藤邦之助(左)と当時の理事長 加藤 仁(右) 一番右は当時の院長 榎本 和



2016年、伐採する前に記念撮影。記念樹に手を伸ばしているのは、会長 加藤 仁(左)と理事長 山本 直彦(右) 一番右は名誉院長 榎本 和



旧B館の喫茶アトリ玉前にあったころのイチヨウ

共和病院では、外来～入院～退院を通して、様々な医療技術職によるサポートを行なっております。
毎号それぞれの職種を紹介しています。

検査課

当院の検査課は、『診療放射線技師』と『臨床検査技師』2つの職種で構成されています。

『診療放射線技師』は、胸部や骨などのレントゲン検査、CT検査、バリウム検査や骨密度検査などを行なっています。

『臨床検査技師』は、患者様から採取した血液や尿・便・細胞などを検査する「検体検査」と、心電図や脳波、肺機能など患者様を直接検査する「生理機能検査」を行なっています。

病気になると、体の中ではさまざまな変化がみられます。医師が、患者様の身体の状態を客観的に診るために『検査』は不可欠であり、私たちはその手助けをしています。



診療放射線技師

正確で信頼できるデータを得るためには、検査時の患者様の協力が欠かせません。患者様一人ひとりに寄り添った声かけをし、安心して検査を受けてもらえるよう心掛けています。



臨床検査技師

また、当院では『健康診断』も行なっています。健康診断は、生活習慣病の早期発見や、自覚症状のない病気に気づくために、定期的に受診することが推奨されています。大府市の特定健診や企業健診、個人健診にも対応しておりますので、お気軽にお問い合わせください。

これからも2職種で協力し合い、医療やみなさまの健康維持に貢献できるよう努めていきたいと思っております。

責任者 栗田 恵美

交流会『つなごう！つながろう！強度行動障害者を支える～輪～』開催！

PBST（Positive Behavior Supports Team:積極的行動支援チーム）は、障害特性（コミュニケーション・想像力・社会性・感覚など）により行動障害が生じている方々の背景をアセスメントし、その方の特性に合わせた支援を行う専門チームで、発足5年目を迎えています。これまでに30名以上の患者様へ多職種で支援してきました。医療だからこそできる強みを再確認する一方で、地域へ支援を繋ぐことの難しさを実感することが多くありました。医療と地域双方の理解が深まることで、患者様の地域生活を長期的に支えることに繋がると考えました。そこで！これまでケースを通じてつながった相談支援や生活介護など関係者の方々をお招きして9月26日に交流会『つなごう！つながろう！強度行動障害者を支える～輪～』を開催しました。

当日は、19名の方にご参加いただき、事例報告2例とグループワークを行いました。参加者からは、『同じケースを協力しながら継続して支援することで、PBSTへの信頼

に繋がった』『日頃の支援に孤独感を感じることもあるが、交流機会があつて嬉しい』などの感想が聞かれ、『また参加したい！』との意見を多く頂きました。

今後も、行動障害をお持ちの方への支援に関わる皆さんの力をお借りしながら、交流会をより広く有意義なものへと成長して、継続開催していきたいと思っています。

協力いただいた皆様、ありがとうございました！

PBST 作業療法士 藤松 昌子



編集後記



晴れやかな秋空が広がる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。広報誌WA!は、なんと今回で100号を迎えました。年数にして約25年です！広報委員になって数年の私ですが、広報誌がこんなに長い間続いていることを今回初めて知りました。これを機に、過去のものを見返してみようと思います。

過去の広報誌は当院のホームページに掲載しておりますので、皆様もぜひご覧になってみてください。

これからも皆様楽しんでいただける広報誌を作りたいと思います。

広報委員会 佐竹 萌



共和国たんぽぽ保育園

病児保育室 どんぐり をはじめました



当園は、共和国併設の保育所として1992年に開所し32年を迎えました。その間に大府市の人口も増加し保育園のニーズが高まり、当園も2024年3月より認可保育園となりました。そしてこのたび、保育園内で「病児保育室 どんぐり」を11月1日よりはじめました。地域の保育園として、今後も様々なご希望に応じてまいります。

園長 山田 しか

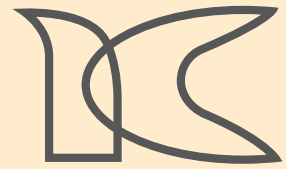


AED研修

どんぐり (3部屋あります)



◀詳しくはHPをごらん下さい。



共和国理念

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは

- まごころをこめてやすらぎと癒しの提供
- あなたの安心と希望ある地域生活の支援
- それぞれの専門性を活かした最良の医療・介護サービスの提供

私たちが目指す『楽しい職場』とは

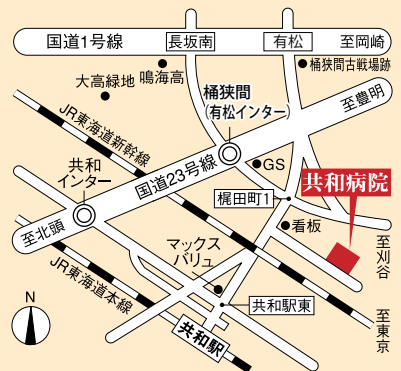
- 職員のチームワークと創造性が高められる職場
- 職員のレベルアップと仕事の充実が感じられる職場
- 職員の満足が皆様へ反映される職場

基本方針

～当院をご利用の皆様へ～

わたしたちは、利用者の皆様が安全かつ納得のいく医療を受けていただくことを目指し、それぞれの尊厳を大切に、思いやりのある医療を提供します。さらに、地域関係機関との密接な関係を保ち、地域の医療水準の向上に努めます。

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
3. あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
4. あなたの医療上の個人情報は保護されます。
5. あなたの社会でよりよい生活が提供されるよう、地域関係機関との連携を図ります。



特定医療法人 共和国

共和国病院

愛知県大府市梶田町2-123

診療科目

内科・消化器内科・呼吸器内科・脳神経内科
精神科・心療内科・循環器内科・放射線科
リハビリテーション科・歯科

TEL.0562-46-2222(代)

URL <http://www.kyowa.or.jp/>

★ラジオ番組★

毎月 第2月曜日19:00～19:30

MID-FM 76.1

ラジオパーソナリティ
共和国病院 副院長 松下 直美

こころの病を持たれている方をはじめとする皆さまに
温かいメッセージをお送りします。是非お聞かせください。

おもいやり共和の キラキラチアナイト



当院HPから過去の放送分も聴くことができます。

お知らせ

12月28日(土)～1月5日(日)は、年末年始につき外来診療を
休診させていただきます。